

台風12号被害 救援・復旧へ

日本共産党
国会議員団 東海ブロックニュース

2011年
9月10日
第11号

日本共産党国会議員団東海ブロック事務所
名古屋市中区新栄三丁目十二番二十七号
電話 〇五二(六四)〇八三三、FAX 二六四〇八五〇
Eメール tokai12@ybb.ne.jp

佐々木、井上両議員が 紀宝町、熊野市を見舞う

日本共産党の台風12号災害対策本部の佐々木憲昭衆院議員と井上哲士参院議員は7日、被害を受けた三重県紀宝町と熊野市に調査に入りました。大嶽隆司党県委員長、真弓俊郎前県議も同行しました。

紀宝町では西田健町長から状況を聞いた後、原章三党町議の案内で被災地を視察。住民が「伊勢湾台風以上」と話すほどの大雨で川が氾濫、住宅の屋根や電線に流木が引つかかっています。高岡地区では集落を囲っていた輪中堤が倒壊し、多

くの住宅が被害を受けました。行方不明者をだした浅里地区は道路が寸断され孤立状態が続いています(9日現在)。また、取水場が被害を受け、町内全域が断水し、家屋の泥の洗い流しや洗濯ができず、入浴は1時間もかけて町外に通っている状況です。

避難所の管理人は「飲み水はありますが生活用の水がなく、トイレも困っています」と語っていました。

熊野市では山田実市議が「山間部では橋が5本落ちています

三重県の党議員ら救援に奮闘

紀宝町の原町議や尾畑啓嗣前町議、熊野市の山田市議は、自宅が水没しながらも懸命の救援活動が続いています。

原町議は避難所に食料や水が届くように奔走。尾畑町議は台風時、地区の住民の避難を誘導したり、ボートで救出。住民の安否を確認しながら自宅などの片付けを行っています。山田市議も近所の家の片づけを順番に手伝いながら、住民の被害状況や要

望を市に伝えています。

紀宝町に党ボランティアセンター

紀宝町大里の相野谷(おのだに)中学校横の民家を借りて、党ボランティアセンターが開設されました。10、11日に県内各地区から第一次ボランティアが入って活動しながら、要望をつかむことにしています。救援募金も受け付けています。

仮設ポンプなど応急対応を支援

参院災害特委で政府答弁 井上議員に

井上哲士議員は9日、参院災害特委で、台風12号で大きな被害を受けた三重県紀宝町、熊野市の復旧について、国が早急に、強力な支援を行うよう求めました。

井上氏は、紀宝町の全域が断水している実態を示し、国の支援を求めました。

厚生労働省の篠田幸昌官房審議官は、「仮設ポンプなど応急対応でも水の供給ができるよう、国として技術的支援などのバックアップを心がけたい」と答弁。

井上氏はまた、熊野市の井戸川では堤防

も損傷し、流された岩や流木で川底が高くなり、住宅地との差が1〜2メートルしかなくなっていることを指摘。「住民は台風シーズンもひかえ、再び大雨が降れば相当の被害になると心配している」と述べ、早急に対策を行うため国の支援を求めました。

平野達男防災担当相は、「激甚災害指定が決定される前でも査定前着工は可能であり、急がれる事業は地方自治体でどんどん進めていただきたい」と答えました。



す。とにかく川の岩をなんとかしないと、次に台風がきたら確実にだめ。早急な対処をお願いしたい」と話していました。

井上議員の参院災害対策特別委の質問(20分)がインターネットで見られます。下記のアドレスから、9月9日→発言者一覧→井上哲士(日本共産党)をクリックしてください。

<http://www.webtv.sangiin.go.jp/webtv/index.php>